

# 日野市障害者差別解消基本方針に基づく「各部署の取組方針」 平成29年度作成

部署(課)名	差別解消に向けた取組方針 各課の事務・事業を行う上での考え方	取組の視点 (例示から選択された項目)	具体的な取組内容
子育て課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関わる多くの事業を主管する課として、子どもや保護者に対する差別解消に向けた取り組みを率先して行う。</li> <li>・児童館、学童クラブ、放課後子ども教室「ひのっち」に従事するすべての職員等が差別解消を意識した対応ができるよう、意識啓発に努める。</li> </ul>	合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 機会の平等 障害者等の利用を想定した環境整備 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種手当の給付並びに医療費助成事業では、障害福祉課と連携し、障害者に対して適切な情報提供を行う。</li> <li>・児童館館長会や各児童館ごとの会議の場を活用し、障害者差別解消に向けた意識啓発を行う。</li> <li>・障害者等の利用を想定した環境整備に向け、各児童館の施設状況を再確認する。</li> <li>・イベント実施にあたり、特別支援学校(教員・保護者)、日野市少年学級親の会等と連携し、意見を取り入れながら、準備・運営を行う。</li> <li>・ボランティアスタッフ(地域の大人・学生)に対して、特別支援学校の教職員による事前レクチャーの実施や、障害児と接する機会を提供することで、障害に対する理解・関心を深め、ノーマライゼーションの啓発、ユニバーサル社会の実現を目指す。</li> <li>・各学童クラブの会議の場を活用し、障害者差別解消に向けた意識啓発を行う。</li> <li>・障害者等の利用を想定した環境整備に向け、各学童クラブの施設状況を再確認する。</li> <li>・放課後子ども教室「ひのっち」事業では、特別支援学級の1年生保護者会において、事業説明を行う。</li> </ul>
保育課	保育課及び公立保育園職員が差別解消についての意識向上を図りながら、窓口対応や保育に取り組んでいく。	不当な差別的取扱いの禁止 合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 ルール・慣行の柔軟な変更 障害者等の利用を想定した環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育施設等の利用及び補助金等事業では、窓口での筆談器の使用、代読、代筆等の対応により、申請手続きをサポートする。結果通知については必要に応じて郵送・メール・電話・ファックス等の方法を選択する。</li> <li>・公立保育園運営事業では、保護者及び園児の障害特性に配慮した意思疎通方法及び保育の実施を図る。</li> </ul>

部署(課)名	差別解消に向けた取組方針 各課の事務・事業を行う上での考え方	取組の視点 (例示から選択された項目)	具体的な取組内容
子ども家庭支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの命と権利を守り、子どもが健やかに成長するための支援を行う課として、障害の有無にかかわらず、困難を抱える子どもとその世帯に対し、丁寧な相談及び支援を行う。</li> <li>・課員全員が、障害者差別解消法及び日野市障害者差別基本方針を理解するよう、研修等へ参加する。</li> </ul>	不当な差別的取扱いの禁止 物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 ルール・慣行の柔軟な変更 人材育成 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと家庭総合相談支援事業では、困難を抱える子どもやその養育者が気軽に相談できるよう相談窓口についての情報発信を、広報や小冊子等で周知する。</li> <li>・相談支援の際に丁寧な対応を行い、必要に応じ医療機関等への同行を行う。</li> <li>・子育てひろばに来所した際に、障害にあった対応を行う。</li> <li>・来所している健常者との交流の際に、サポート体制をとり来所者全員が楽しめる居場所づくりを行う。</li> <li>・親の子育て力向上支援事業では、指導員や支援員の派遣の際に、障害にあった丁寧な対応を行う。</li> <li>・障害があっても講座に参加できるよう、メモを用意し筆談等の用意をする。</li> <li>・ショートステイ事業では、申し込みの際や施設見学の際、障害にあった対応（筆談や誘導、低い場所での対応）を行う。</li> <li>・必要に応じ申請者の意志を確認し代筆したり、施設見学の際に同行する。</li> </ul>
教育部庶務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課員全員が常に差別解消を意識した対応ができるよう、意識向上に努める。</li> <li>・学校施設の改修等の際は、ユニバーサルデザイン及びバリアフリー法等に基づいた環境整備に努める。</li> </ul>	不当な差別的取扱いの禁止 合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 ルール・慣行の柔軟な変更 障害者等の利用を想定した環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員による教育委員会定例会・臨時会では、障害者差別解消法の趣旨を委員に説明し、傍聴については障害に応じた適切な対応をする。</li> <li>・就学援助事業では、障害者差別解消法の趣旨を課員に徹底させ、窓口対応に十分注意をはらう。</li> <li>・奨学金支給事業では、障害者差別解消法の趣旨を課員に徹底させ、窓口対応に十分注意をはらう。</li> <li>・学校施設を増築または改築する際には、障害者の方々の利用を考慮した駐車場・トイレ・エレベータ・段差解消等の環境整備を図る。</li> <li>・既存校舎等を大規模な改修を実施する際は、障害者の方々の利用を考慮したトイレ・手摺・段差解消等の整備を図り、駐車場・エレベータ等新たな環境整備にも努める。</li> </ul>

部署(課)名	差別解消に向けた取組方針 各課の事務・事業を行う上での考え方	取組の視点 (例示から選択された項目)	具体的な取組内容
学校課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育を主管する課として、差別解消に向けた取り組みを率先して行う。</li> <li>・職員（含む教職員）全員が常に差別解消を意識した対応ができるよう、意識啓発に努める。</li> <li>・人権教育の中で差別解消に向けた教育指導を行う。</li> </ul>	不当な差別的取扱いの禁止 合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 障害者等の利用を想定した環境整備 人材育成 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育指導では、職員に対し研修及び周知活動を行い、障害者差別解消に向けた意識啓発を行う。</li> <li>・転入学事務では、説明会等における配慮、手続きに必要な書類に関する配慮、窓口における配慮を行う。</li> <li>・学校保健給食事務では、健康診断実施の配慮、学校給食に関する、児童・生徒への配慮を行う。</li> </ul>
ICT活用教育推進室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の活用にあたって、障害の状況に応じた配慮を行う。</li> <li>・臨機応変に対応する。</li> </ul>	物理的環境への配慮 意思疎通の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTに関する情報収集を行い、市民が利用するシステム導入などICT予算事前協議で、誰でも利用できるようアクセシビリティに配慮した支援を行う。</li> <li>・車いす利用者・視覚障害者が参加するのに支障のない会場選定、座席配置等対象者の状況に合わせた配慮をする。また、研修資料を事前送付したり視覚障害者用の読み上げソフトに対応したテキスト版の教材を作成するといった、対象者の障害の応じた対応も検討する。</li> </ul>
教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育を主管する課として、児童・生徒の特性に応じ、一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばすため、必要な教育的支援を行う。</li> <li>・全ての学校、教室において、児童生徒の特性理解を図るとともに、「ひのスタンダード」として推進している授業のユニバーサル化、教育環境の工夫等を行う。</li> <li>・児童生徒と保護者及び教員などに対し、共生社会実現への理解・啓発等を行う。</li> </ul>	不当な差別的取扱いの禁止 合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 ルール・慣行の柔軟な変更 機会の平等 障害者等の利用を想定した環境整備 人材育成 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談、入級転学相談事業では、児童・生徒及び保護者の実態に応じ、手続き等の配慮、判定会の実施を柔軟に行い、適切な指導・環境での教育的支援の提供を図る。</li> <li>・ひのスタンダード推進事業では、研究成果について全教員で共有し、研修の実施や研究授業の開催などを通じ、特性のある児童生徒への教育環境や指導方法などの改善を行う。</li> <li>・児童・生徒及び保護者の特性受容に応じ、在籍学校の判断で教育的支援の提供ができるリソースルームを運営する。中学校では設置校の拡大を図る。</li> <li>・全ての小・中学校に特別支援教室が設置されることで、支援が必要な児童・生徒に教育的支援が提供できるようになり、機会の平等が図られる。</li> <li>・通常の学級、特別支援学級と特別支援学校の児童・生徒との交流及び共同学習、並びに副籍制度による交流を通じ、共生社会実現への意識啓発、環境を醸成する。</li> </ul>

部署(課)名	差別解消に向けた取組方針 各課の事務・事業を行う上での考え方	取組の視点 (例示から選択された項目)	具体的な取組内容
教育センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口だけでなく誰に対しても親切丁寧な対応を行う。</li> <li>・窓口対応では、聞き取り等が困難な場合はコミュニケーションボードや筆談等の手段を活用する。</li> <li>・車椅子、電動車椅子、盲導犬等の利用者には一般ルールを変更して土足等の利用を許可し、利用後一般利用者のためにすぐに清掃等必要な措置を行い、他の利用者に不便や不快感を与え無いように配慮する。</li> </ul>	障害者の利用を想定した環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理では、他課との調整を行い不具合等をチェックして改善に向けて調整・改善を行う。また、業務中廊下、通路、玄関等を通る際に職員は常に利用者の動向・動作等をさりげなく観察し、必要に応じて声掛け等を行い、対応措置を講ずる。</li> </ul>
生涯学習課	<p>「日野市生涯学習推進基本構想・基本計画」(日野まなびあいプラン)を推進する課として、「いつでも どこでも 誰でも 学べる環境」実現の一つとして障害者差別解消への取り組みを推進する。</p> <p>来庁者への対応：接遇の基本に立ち回り丁寧な対応を心がける。様々な場合や障害のある方の状況に応じ柔軟に対応する。</p> <p>職員の意識啓発：職員全員が障害者差別解消法が求める対応・行動ができるよう意識啓発を行う。</p>	合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 機会の平等 障害者の利用を想定した環境整備 人材育成 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育学級事業では、講演会参加者の状況に応じて、スクリーン、手話通訳者、板書等がよく見えるような席を設定する。講演会の問い合わせはファックスでの対応も行う。</li> <li>・障害者訪問学級事業は、ひとりで外出することが困難な障害者で学校卒業後も学びたいという意欲を持つ方に対して学習機会を提供する。</li> <li>・成人式ではすべての対象者が平等に式典に出席できるよう配慮する。手話通訳者の配置、障害をお持ちの方に配慮した座席の確保、座席への誘導等行う。</li> <li>・大成荘は、個人利用の他にも障害者訪問学級・障害者少年学級・障害者青年学級などの市の事業、他市の特別支援学校などの事業でも利用されている。障害をお持ちの方が安全に快適に宿泊できよう必要かつ合理的な範囲で柔軟な対応ができるようより一層運営を充実する。また、多様な人々が可能な限り最大限に利用しやすいよう施設の修繕を行う。</li> </ul>
中央公民館	講座・イベント、サークル活動等で、公民館施設等を利用する際、障害を理由とする差別がないように配慮し、必要に応じた援助を行う。	不当な差別的取扱いの禁止 合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 ルール・慣行の柔軟な変更 機会の平等 障害者等の利用を想定した環境整備 人材育成 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座やイベントを開催する際は、障害者に対して必要な配慮について、職員の意識啓発を行い、必要に応じて課内研修を実施する。</li> </ul>



部署(課)名	差別解消に向けた取組方針 各課の事務・事業を行う上での考え方	取組の視点 (例示から選択された項目)	具体的な取組内容
図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての市民が利用しやすい図書館であるために、図書館利用における障害を取り除く</li> <li>・職員全員が常に差別解消を意識した対応ができるよう、意識啓発に努める。</li> </ul>	不当な差別的取扱いの禁止 合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 ルール・慣行の柔軟な変更 機会の平等 障害者等の利用を想定した環境整備 人材育成 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館運営では、障害特性に応じた本の収集、提供、窓口での対応を行う。窓口で意思疎通や、物理的環境への配慮を全職員が行えるようにする。</li> <li>・図書館利用に障害がある利用者へ障害に応じた資料の提供や、郵送、宅配サービスを行う事業について、サービスを知らない障害者のために様々な機会をとらえ、積極的にPRを行う。</li> </ul>
郷土資料館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館として、展示見学者や講座への参加者等への差別解消に向けた取り組みを率先して行う。</li> <li>・職員全員が常に差別解消を意識した対応ができるよう、意識の啓発に努める。</li> </ul>	合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 ルール・慣行の柔軟な変更 障害者等の利用を想定した環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者向けの駐車スペースを常時確保している。</li> <li>・展示施設は車椅子で見学できるように通行幅を確保している。</li> <li>・電動車椅子の充電スペースを常時確保している。</li> <li>・高齢者が安全に見学できるように、スリッパへの履き替えを行わないで、見学できるように周知している。</li> </ul>
文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツの振興をはかるため、さまざまな障害者スポーツやニュースポーツの体験教室を実施していく。</li> <li>・障害者が芸術文化事業に積極的に参加できるよう、配慮を行なう。</li> </ul>	不当な差別的取扱いの禁止 合理的配慮の提供 物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 ルール・慣行の柔軟な変更 機会の平等 障害者等の利用を想定した環境整備 人材育成 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツやニュースポーツの体験教室では、障害者も参加しやすいイベント、教室を企画する。</li> <li>・参加チラシなどに障害者の申込に配慮した文言を入れる。</li> <li>・障害者もイベントに参加できるよう、関係者に周知徹底を図る。</li> <li>・コンサート等文化事業への参加の際は、座席の準備、配慮意思疎通の手段、イベント参加の障害者への配慮（行列、座席の確保、駐車場等）等可能な限り対応を行う。</li> </ul>
新選組の ふるさと歴史館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新選組を通して日野市の魅力を市内外に発信する課として、障害者差別解消の取組を行う。</li> <li>・誰もがわかりやすい案内や説明に努める。</li> <li>・職員全員が常に差別解消を意識した対応ができるよう、意識啓発に努める。</li> </ul>	物理的環境への配慮 意思疎通の配慮 機会の平等 障害者等の利用を想定した環境整備 人材育成 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある方でも支障なく移動できるよう、館内の動線に配慮する。特に2階展示室への行き来のためのエレベーターへの動線を確保する。</li> <li>・来館者の障害の内容に合わせ、来館者が理解しやすい案内・説明を行う（用語の使い方や言い換え、筆談具や紙を用いた説明など）</li> </ul>